

Active Learning Lesson of Graded Learning Method

AoG Scientific Seminar

サイエンティフィック ゼミ

不思議と思う好奇心、疑問に思う探究心こそきみの力。

あなたは、ものの重さや速さについて考えたことがありますか。

いま、手元に10円玉と1円玉があると思ってください。

10円玉の重さは、4.5 g、1円玉の重さは、1 gです。これを同じ高さから同時に落とすと、どちらが先に床に落ちると思いますか？

簡単な実験ですから、あなたもすぐに試してみることができると思います。そこで、実験に入る前に、まず、予想してみてください。

〈10円玉の方が速く落ちるでしょうか？それとも、1円玉の方が速く落ちるでしょうか？それとも、そのどちらでもないのでしょうか？〉

じつは、ものは、地球から引っ張られて地球に近づいていくのですが、衝突した瞬間の衝撃が、重さによってあまりにも違いすぎるので、ものの近づき速さも違うのではないかと思いますね。また、私たちは、どうしても、ものと地球（地面）を上下関係で見えてしまいがちなので、ものが地球に近づいていく速さも違って見えるのですね。でも、遠く宇宙から見れば、ものと地球は、横の関係だったり、斜めの関係だったりするので、重いものは動きづらいで遅いとも見えてきますし、逆に軽いものは動きやすく速いとも見えてきます。さあ、自分の硬貨で実験してみてください。

どのようにして、ものは落ちていくのでしょうか。また、なぜ、ものは落ちるのでしょうか。

「なぜ」と問わなければ、新しい発見はできません。「どのようにして」と突き詰めなければ、発明は完成しません。

不思議と思う好奇心、疑問に思う探究心があってはじめて科学は先に進むことができるのです。どうか、興味をもって、また謙虚に、科学に取り組んでください。基礎から一緒にアシストします。

数学検定

理科検定

漢字検定

英語検定

日本語検定

歴史検定

Graded Learning Method ©

サイエンティフィック ゼミは、段階的学習方式

サイエンティフィック ゼミでは、学習成果を確かめながら進みます。「学齢」には必ずしもこだわりませんが、全国レベルの検定をクリアしながら、次のステップへ進むというものです。慌てず、急がず。でも、速やかに。ステップ by ステップです。

始めるのは、どの時点からでもOKです。もちろん、検定だって、同じクラスを何度でも受検できて、しかも結果を自分で判断して次へ進むかどうか、自分の判断次第です。

ここでは、プログラムの設定以外、すべては自発的に判断していただきます。「受け身の授業」から自発的なレッスンへ、段階的に、創造的な判断ができるよう、独自のプログラムをつくっていきます。

サイエンティフィック ゼミは、カフェレッスン

テーブルをはさんで、フェイス to フェイスのレッスンです。科学の実験から、計算と検証まで、目の前でディベートを繰り返していきます。どうぞ、科学に親しんでください。

<https://artandscience.jimdo.com>

e-mail: arttosci@yahoo.co.jp

連絡先 090 4113 9585

サイエンティフィックゼミ

検索

Book Worm Lesson of Scientific Seminar

本の虫 ことば の レッスン

ことばは、すべての学問の入り口なんです。

あなたは、自転車に乗ることができますか。また、いつごろから乗ることができるようになりましたか。

あなたは、泳ぐことができますか。そして、いつごろから泳ぐことができるようになりましたか。

こんなことを尋ねるのは、自転車に乗れない人たちを何人も知っているからです。

また、私自身、まともに泳ぐことができないからです、自慢ではありませんが。

あるひとが、こんなことを言っていました。

「学校で、たった 400 文字原稿用紙 1 枚分の作文を書くのにも苦しんでいた人は、おそらく日本の人口の 80%以上になるのではないかな。そういうほくも、80%のひとりである。それどころか、その後、半世紀も過ぎて、曲がりなりにもことばを商売にしている現在になっても、まだ作文をするのは気が重い。こんなことでよく生きてこられたとも思うけれど、気が重なり不器用に 1 文字ずつ書き足してきた。作文だとか、文章を頼まれるとかは苦しくても、多くの人たちは、ことばを使ったり書いたりしている。それは、作文というかたちではなく、親しい人どうしの『おしゃべり』としてだったり、ツイッターやフェイスブックに書き込む『テキスト』として表現されているのだ。『作文』は苦手な、苦しく悩ましいのだけれど、表現はスイスイといくらでもできる。『作文』は苦しいものだという思いが、どうしてこんなに残っているのだろうか。人は、ほんとは、いくらでも言えるし、書けるのだ。人は、歩けるのと同じように、表現できる。踊りや歌で表現する人もいるし、無口な人の表現もある。」と、言うのです。このことは、ほんとうでしょうか？ほんとうに、みんなが「いくらでも」書けるのでしょうか？ほんとうに、ちゃんと通じるように話せているのでしょうか？

「スイスイといくらでもできる」と錯覚して、意味不明なことを言っていないでしょうか？じつは、食べることや歩くことは、自転車に乗れることや泳ぐることとは根本的に違うのです。

ヒトは、考えることはできるのですが、理解するには術が要るのです。

◇読み聞かせ ◇リスニング（ヘッドフォンを使って） ◇読書の記録

◇作文のトレーニング（音読から） ◇作文型を使ったの反復学習 ◇作文の清書

本を読む（聴読アシスト）

- ・読み聴かせ：storytelling
- ・聴き読み：listening
- ・読み解き：reading comprehension

文を創る（作文添削）

- ・感想文：book report
- ・説明文：explanatory note
- ・小論文：thesis

サインティフィックゼミ スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日	祝
11:00~11:50	○	○	○	○	○	○	/	お 休 み
13:00~13:50	○	○	○	○	○	○	/	
14:00~14:50	○	○	○	/	○	/	/	
15:00~15:50	○	○	○	/	○	/	/	
16:00~16:50	○	○	○	/	○	/	/	
17:00~17:50	○	○	○	/	○	/	/	

※実際に受講可能な時間帯は、前以て早めにお問い合わせください。
小人数形式のため、先着順でスケジュールを決定させていただきます。

- 基礎コース：週1回
(幼児40分 / 小・中・高50分)
- 標準コース：週2回
(幼児40分 / 小・中・高50分)
- 徹底コース：週3回
(幼児40分 / 小・中・高50分)

体
験
レ
ッ
ス
ン
受
付
中